

船舶事故調査報告書

令和6年1月31日
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決
 委員 伊藤 裕 康（部会長）
 委員 上野 道 雄
 委員 岡本 満喜子

事故種類	乗揚
発生日時	令和4年11月20日 06時00分ごろ
発生場所	福岡県福岡市博多港西防波堤 博多港西防波堤北灯台から真方位205°90m付近 (概位 北緯33°37.0′ 東経130°22.9′)
事故の概要	遊漁船ベイスไตล์Ⅲは、西北西進中、防波堤に乗り揚げた。 ベイスไตล์Ⅲは、釣り客6人及び船長が負傷し、船首部船底に破口を生じ、また、防波堤は、擦過傷を生じた。
事故調査の経過	令和4年11月21日、本事故の調査を担当する主管調査官（門司事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	遊漁船 ベイスไตล์Ⅲ、5トン未満 292-45879福岡、個人所有 10.12m (Lr) × 2.57m × 0.76m、FRP ディーゼル機関、209.62kW、平成13年12月
乗組員等に関する情報	船長 55歳 一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許登録日 平成6年12月8日 免許証交付日 令和元年12月5日 (令和6年12月7日まで有効)
死傷者等	重傷 1人（釣り客A）、軽傷6人（釣り客B、釣り客C、釣り客D、釣り客E、釣り客F及び船長）
損傷	本船 船首部船底に破口 防波堤 擦過傷
気象・海象	気象：天気 晴れ、風 ほとんどなし、視界 良好 海象：海上 平穏、潮汐 上げ潮の末期 日出時刻：06時54分ごろ
事故の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、釣り客6人（以下「釣り客A」、「釣り客B」、「釣り客C」、「釣り客D」、「釣り客E」及び「釣り客F」という。）を乗せ、遊漁の目的で、令和4年11月20日05時50分ごろ、福岡県福岡市小呂島 ^{おろの} 周辺の釣り場に向けて博多港の東浜船だまりを出航した。(写真1参照)



写真1 本船

船長は、法定灯火を表示し、操舵室右舷側の操縦席に腰を掛け、舵輪を左手で持って手動操舵により操船に当たり、釣り客B、釣り客C及び釣り客Dが操舵室内の椅子に腰を掛け、釣り客A、釣り客E及び釣り客Fが後部甲板でクーラーボックスに腰を掛けていた。

(写真2、図1参照)



写真2 操縦席からの前方の見通し状況

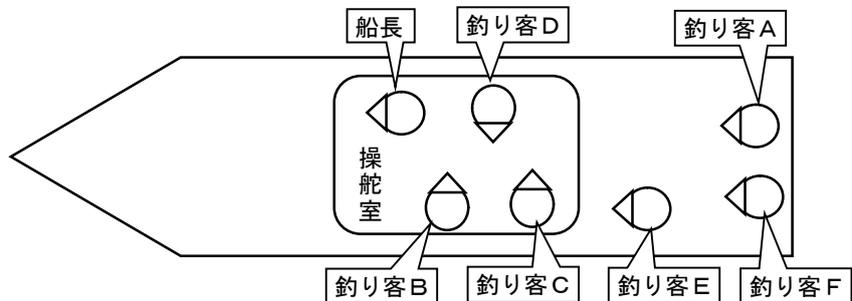


図1 船長及び釣り客の乗船位置

船長は、レンジを0.3海里 (M) とし、ノースアップで本船の進行方向約1Mが表示されるように設定した画面と魚群探知機能の画面が表示されたGPSプロッターを作動させ、東浜ふ頭に沿って約4ノット (kn) の速力 (対地速力、以下同じ。) で本船を西北西進させた。(写真3参照)

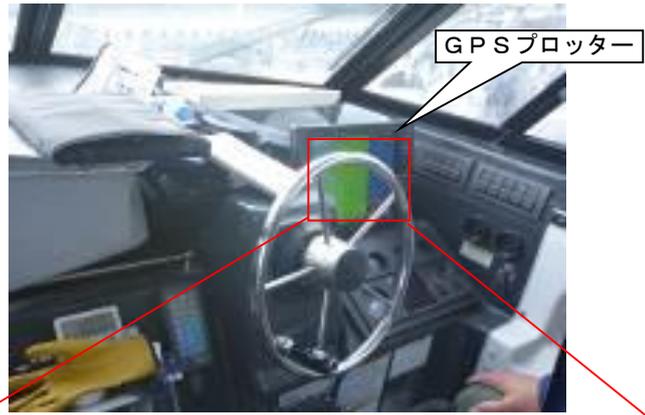


写真3 GPSプロッターの設置位置及び画面の表示状況
(出航場所での表示状況を再現)

船長は、東浜ふ頭の先端を通過する頃、いつものように博多港東防波堤灯台（単閃緑光、毎3秒に1閃光）の灯光（以下「緑灯」という。）と博多港西防波堤北灯台（単閃赤光、毎3秒に1閃光）の灯光（以下「赤灯」という。）との間（以下「東西防波堤間」という。）の緑灯寄りに向く針路とし、約1.4～1.5knに増速して緑灯との距離を目測しながら航行した。

船長は、定針後、間もなくして、福岡市箱崎漁港から出航する小型船舶の白灯と紅灯を右舷方に視認し、衝突のおそれを感じるほど接近していなかったが、本船より速力が速かったので安全に配慮し、東西防波堤間の中央付近に針路を向けようとした。

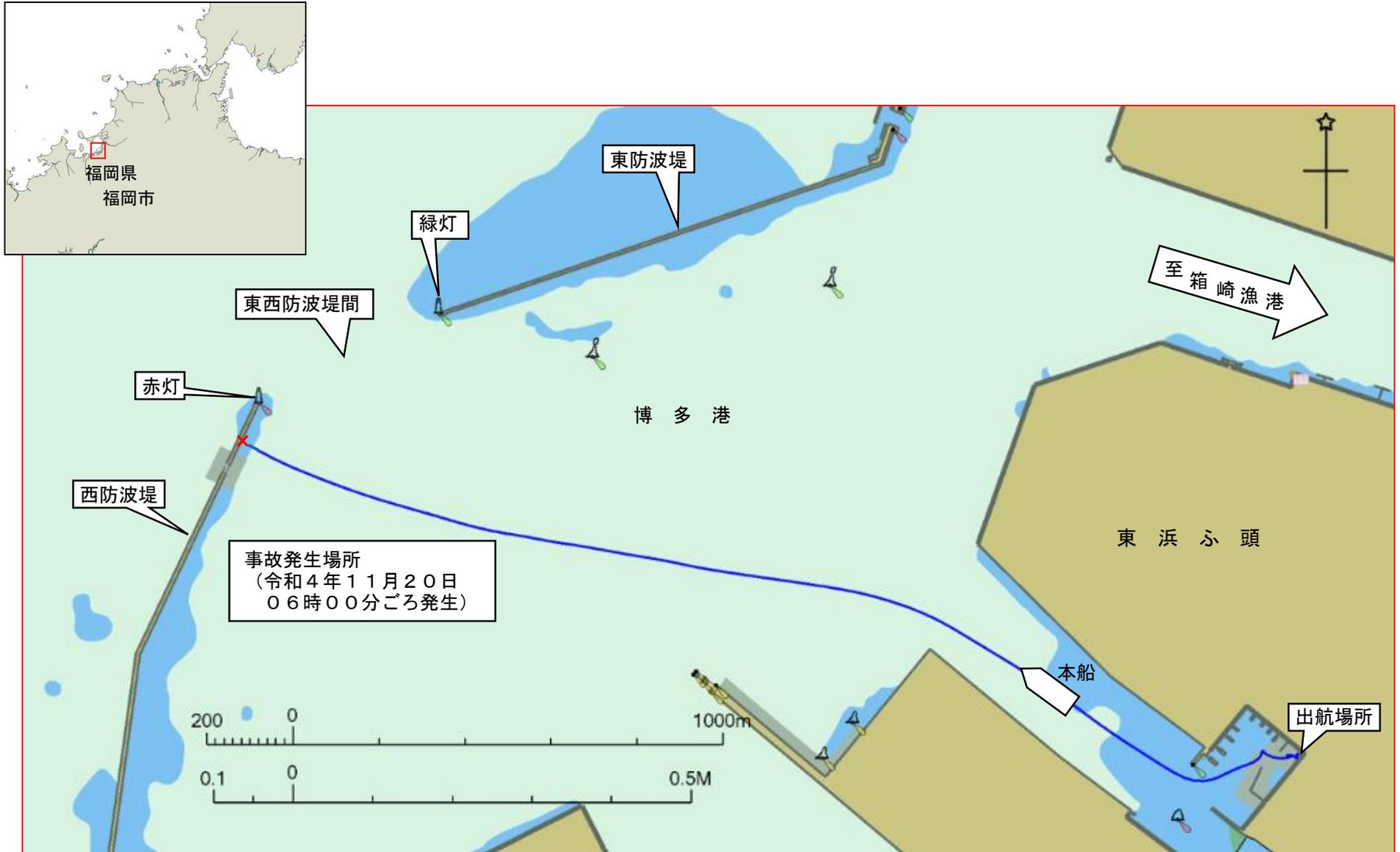
船長は、目視のみにより左舵を取った後、舵を中央に戻し、針路が東西防波堤間の中央付近に向いていると思い、続航した。

船長は、航行中、天気が良く、数日前に流れ星がよく見えたので、操舵室にいた3人の釣り客に流れ星を見せようと、流れ星がよく見え

	<p>る時間である旨を告げ、時折、緑灯との距離を見ながら、操舵室前面の窓越しに上空を見上げ、流れ星を探しながら航行した。</p> <p>船長は、06時00分ごろ、突然衝撃を受け、操舵室前部の棚や舵輪に身体をぶつけ、右上に赤灯が見えたので西防波堤に乗り揚げたことを知り、主機を停止し、操舵室及び後部甲板にいた釣り客全員の負傷状況を確認した。</p> <p>船長は、本船の船首部船底に破口が生じていたので、防波堤に左舷着けして救助を待つこととし、自身の携帯電話が飛ばされて所在不明になったので、釣り客Dが118番通報した。</p> <p>本船は、釣り客6人が海上保安庁の巡視艇及び福岡県警察の警備艇により中央ふ頭に搬送された後、巡視艇により箱崎漁港にえい航されて陸揚げされた。</p> <p>釣り客6人は、救急車で病院に搬送され、釣り客Aが左脛骨腓骨骨幹部骨折、釣り客Bが頸椎捻挫等、釣り客Cが頸椎捻挫、釣り客Dが顔面打撲傷等、釣り客Eが外傷性頸部症候群等、及び釣り客Fが外傷性頸椎捻挫等とそれぞれ診断されるとともに、船長が前額部、胸部及び両膝打撲等を負った。</p> <p>(付図1 航行経路図、付表1 本船のGPS記録(抜粋) 参照)</p>
<p>その他の事項</p>	<p>本船の喫水は、船首約0.5m、船尾約1.3mであった。</p> <p>船長は、平成19年9月に遊漁船業を始め、令和元年12月に本船を中古で購入して船長として乗り組み、博多湾及び玄海灘等で遊漁を行っており、年に200回程度の本事故発生場所付近の航行経験を有していた。</p> <p>船長は、慣れた航行海域であったので、東浜ふ頭先端を通過してからGPSプロッターを見ておらず、緑灯との距離を目測しながら航行したが、GPSプロッターで船位及び針路を把握しながら航行していればよかったと本事故後に思った。</p>
<p>分析</p> <p>乗組員等の関与</p> <p>船体・機関等の関与</p> <p>気象・海象等の関与</p> <p>判明した事項の解析</p>	<p>あり</p> <p>なし</p> <p>なし</p> <p>本船は、東西防波堤間に向けて博多港を西北西進中、船長が、本船の針路が東西防波堤間の中央付近に向いていると思い、上空に意識を向けた状態で緑灯との距離を目測しながら目視のみで航行したことから、前方の西防波堤に向かって航行していることに気付かず、同防波堤に乗り揚げたものと推定される。</p> <p>船長は、目視により左舵を取った後、舵を中央に戻して針路を定め、上空に意識を向けて航行していたことから、西防波堤に向かって航行していることに気付かなかったものと考えられる。</p> <p>船長は、数日前に流れ星がよく見えたことから、本事故時、釣り客</p>

	<p>に流れ星を見せようとして、上空に意識を向け、流れ星を探しながら航行していたものと考えられる。</p> <p>船長は、東西防波堤間の多数の航行経験を有し、慣れた航行海域であったことから、東浜ふ頭先端を通過してからGPSプロッターを活用して船位を把握しておらず、緑灯との距離を目測しながら目視のみで航行していたものと考えられる。</p>
原因	<p>本事故は、夜間、本船が、東西防波堤間に向けて博多港を西北西進中、船長が、本船の針路が東西防波堤間の中央付近に向いていると思い、上空に意識を向けた状態で緑灯との距離を目測しながら目視のみで航行したため、前方の西防波堤に向かって航行していることに気付かず、同防波堤に乗り揚げたものと推定される。</p>
再発防止策	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 船長は、港内及びその付近では、灯台等の航路標識が安全航行上の顕著な目安になることから、操船以外の作業や考えごととは行わず、同標識の見逃しに注意して操船すること。 ・ 船長は、慣れた海域を航行する場合であっても、目視のみに頼ることなく、GPSプロッターなどの航海計器を活用して船位及び針路を把握しながら航行すること。

付図1 航行経路図



付表 1 本船のGPS記録(抜粋)

時刻 (時:分:秒)	船 位	
	北緯 (° -′)	東経 (° -′)
05:50:30	33-36.6445	130-24.4734
05:51:03	33-36.6440	130-24.4729
05:51:33	33-36.6450	130-24.4723
05:52:03	33-36.6459	130-24.4698
05:52:33	33-36.6481	130-24.4650
05:53:03	33-36.6474	130-24.4593
05:53:33	33-36.6437	130-24.4543
05:54:03	33-36.6502	130-24.4263
05:54:33	33-36.6355	130-24.3997
05:55:03	33-36.6155	130-24.3337
05:55:33	33-36.6531	130-24.2372
05:56:03	33-36.7246	130-24.1138
05:56:33	33-36.7933	130-23.9811
05:57:03	33-36.8438	130-23.8425
05:57:33	33-36.8659	130-23.6912
05:58:03	33-36.8868	130-23.5392
05:58:33	33-36.9086	130-23.3885
05:59:03	33-36.9316	130-23.2359
05:59:33	33-36.9715	130-23.0716
06:00:03	33-37.0267	130-22.9121